



飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校中学部通信



令和6年7月19日(金)
第 7 号



飯塚市立小中一貫校飯塚鎮西校
中学部・校長 秦 俊明



1学期終業式



保護者や地域の人とともに1学期の教育活動をすすめて参りましたが、今日で1学期が終わります。本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

本日の終業式の式辞で次のような二つのことを子供たちに話しました。(要約)

一つは、始業式、入学式に話したことについてです。二つの式に共通して話した内容があります。それは、「何事にも積極的にチャレンジ(挑戦)してほしいこと」でした。「これからの社会は、今までにない新たな価値を生み出す未来といわれています。その時代の中を生き抜くためにも、何事にも手を抜かず積極的にチャレンジ(挑戦)してください。挑戦的に、そして、さまざまな活動に取り組みながら、成長してほしいと願っています。」と話しました。そして、「『今』できることを真剣に取り組むことができますか。過去にどんなことがあったとしても、私たちの『今』には何の関係もないし、未来がどうであるかについて、『今』考えても仕方ありません。大切なことは、『今』できることを真剣に取り組むことです。本校の皆さんは、一人の例外なしに誰もが長所を持っています。そして皆さんの内に秘めている可能性は、何の努力なしに自然に光を発するものではなく、磨いて初めて光輝くものとなります。何事にもチャレンジすることで、自分自身が持つ可能性を広げ能力を高めることができます。」と話しました。子供たちにやる気を起こさせ、個性や特性を保護者、地域と協力して、今後も伸ばしていきたいです。

二つは、「挨拶」について話をしました。「挨拶は、心を込めて使うと、周りの人の心を和やかにしてくれます。そして、明るくしてくれます。挨拶の漢字の意味は、人と人が相手の存在を認めて、相手に対して心を開くことを意味していると言われていています。挨拶をして、自分から相手に心を開く姿勢が大切だと思います。そうすることで、互いに安心感を生み出したり、人と人との距離が縮まり、気持ちが通い合ったりできると思います。挨拶ができていない生徒は、まずは、この後から挨拶することをこころがけましょう。」と話しました。飯塚鎮西中の生徒はよく挨拶をすると言われますが、共通理解を図るために話をしました。

2学期の始業式、元気な子供たちに会えることを楽しみにしています。

オンライン英会話

今年度から中学校もオンライン英会話があります。

7, 8年は8回、9年生は6回あります。マンツーマンでネイティブの人と話をします。観に行くと、どの子も一生懸命相手とやりとりをして楽しそうでした。

中学生の未来に贈るコンサート

7月4日(木)午後、コスモスコモンに於いて、公益財団法人福岡県市町村振興協会と飯塚市が主催となって、開催されました。九州交響楽団による演奏はすばらしく、生徒は迫力ある演奏に目を輝かせていました。生徒の感想には、「授業で習っていた曲が多かったので、たくさんの場面や状況を想像しながら楽しく鑑賞する事ができました。ものすごく楽しかったです。」「ドラゴンクエストなど最近の曲も聴けて嬉しかったです。」などありました。



9月の主な行事

- 2日(月) 始業式
- 3日(火) 課題テスト
- 13日(金) 8年夢授業(キャリア教育)
- 14日(土) 嘉飯新人(陸上)
- 24日(火) ~ 27日(金)
小中合同週間(ジョイントウィーク)
- 26日(木) 避難訓練(災害・地震)

